

緑の担い手

林業に就いて

(有)石田木材

皆 藤 寿 樹

私は、これまで20年近く営業や接客業など林業とは全くかけ離れた仕事をしてきました。

元々、アウトドアなど自然に身を置く事が好きだったこともあり、現場仕事には少なからず憧れを持っていました。40歳を過ぎており、体面や生活リズムの変化に馴染めるかなど、様々な不安を抱えての転職となりました。しかし、今は多くの先輩達や仲間を支えられながら、充実した楽しい日々を過ごしています。

そんな中、参加して2年目になる「緑の雇用」研修は、仕事に必要な知識や技術を詳しく学び、会得できる非常に良い機会になっています。

林業に関する基本や最新の技術、講師の方々の体験談はとても参考になり、仕事の段取りや危険回避の手法、失敗事例の研究など、作業の安全確保に役立っています。今後は、研修で覚えた知識、技術を生かして、自身の技術を磨き生産性の向上にもつなげていけたらと思います。

林業は現場の条件も様々で、作業に危険も伴いますが、四季の変化を感じられ、仕事をやり遂げ、奇麗になった現場を見た時の爽快感などを得られるとてもやりがいのある仕事だと実感しています。例えば、樹木には一本一本に様々な表情があり、同じ樹種でも、曲がり、傾き、太さなどが同じものは一本ありません。試行錯誤し、うまく伐倒できた時の達成感は何事にも代えられないくらい嬉しいものです。入社当初、林業は毎日が勉強だと先輩に教えられた事が今でも印象に強く残っています。

一人前にはまだまだ程遠く、迷惑ばかりかけている私ですが、同期の研修生とも切磋琢磨し、周囲からも信頼され、頼られる存在になれるよう、これからも努力していきたいと思えます。

